

# 地 域 再 生 計 画

## 1 . 地域再生計画の名称

みまさか源流域清流再生計画

## 2 . 地域再生計画の作成主体の名称

美作市

## 3 . 地域再生計画の区域

美作市の全域

## 4 . 地域再生計画の目標

美作市は、平成 17 年 3 月 31 日に旧勝田、大原、美作、作東、英田町、東粟倉村の 6 町村が合併して誕生した。岡山県の北東部に位置し、東は兵庫県、北は鳥取県と県境を接し、面積は 429.19km<sup>2</sup>、人口は 33,989 人（平成 16 年度末現在）を有する。市内北部は氷ノ山・後山・那岐山国定公園の自然保護地域にあたり、山麓から流れ出る豊かな清流を集めた吉野川及び梶並川は、岡山三大河川の一つ吉井川の源流として瀬戸内海へ流れ出ている。古くからも緑や清流など美しい自然と密接に交わりつつ営んできたまちである。

また本市中央を東西に走る中国自動車道は、京阪神圏を結ぶ交通の大動脈であり、市内の代表的な観光地である美作三湯の一つ湯郷温泉や剣豪宮本武蔵生誕地などへは、県内はもとより京阪神地域など遠方から訪れる方も多い。

一方、市内のほとんどの地域が中山間地域にあたり、人口の減少化、少子高齢化、近代様式への変化に伴う水質汚濁等多くの問題を抱えている。これを踏まえ本市では、『人・自然・暮らし輝く元気なまち』を基本理念に、豊かな自然や地域の個性をさらに磨き、地域の魅力を高め、住民が心豊かに誇りをもって暮らせる、夢と愛に満ちあふれた、人が輝くまちづくりを目指しており、それに寄与するべく下水道の整備を進めてきている。

しかしながら、本市の下水道整備は人口密集地域で進んでいるのに対し、源流域となる山間部では遅れており、結果として公共用水域の水質浄化が思うように進んでいない現状にある。その反面、自然環境に対する住民意識は年々高まりを見せてきており、それに伴い水環境の再生が大きなファクターとなっている。

本市では、向こう 5 年間で山間部に最も適した汚水処理施設の整備を一層進めることで源流域の水質保全を図り、もって自然環境に満ちた魅力あるまちづくりの一端を担うべく、ここに『みまさか源流域清流再生計画』を策定する。これにより地域からの人口流出を抑制し、清流や自然とふれあう交流人口増加を目指していく。

<目標> 汚水処理整備人口普及率を、82.5% 85.0% (+871人)へ向上させる。

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

本市の下水道整備事業は人口密集地域で順調に進捗しているのに対し、源流域となる山間地域では遅れており、結果として公共用水域の水質浄化が思うように進んでいない現状にある。その反面、生活様式の近代化に伴って自然環境に対する住民意識は年々高まりを見せている。

本市では、集落がまとまっている梶並地区(梶並・真殿(大杉)・東谷下(長岡・富阪・谷・大町))には農業集落排水事業により管渠及び処理場を整備し、平成22年度末までに供用開始できるよう整備を進める。また、市内で集落周辺に点在する世帯には、市が計画的に浄化槽設置を進めていく。

これにより源流域の水質浄化と住民の生活様式向上を図る。これにより、山間地域からの人口流出を抑制し、清流や自然とふれあう交流人口を増加させ、農村地域を再生させる。

### 5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

#### 汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始にかかる手続き等を完了している。なお整備箇所等は、別添の整備課所を示した図面による。

- ・農業集落排水 ... 平成17年4月に事業採択の通知を受けている

#### [事業主体]

美作市

#### [施設の種類]

農業集落排水施設、浄化槽(市町村設置型)

#### [事業区域]

農業集落排水施設 美作市梶並地区

浄化槽(市町村設置型) 美作市の全域(ただし、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水施設、小規模集合排水処理施設整備事業の対象区域を除く)

#### [事業期間]

農業集落排水施設 平成18年度～平成22年度

浄化槽(市町村設置型) 平成18年度～平成22年度

#### [整備量]

農業集落排水施設	管渠	200 ~ 150	L = 7,490m
	処理場	1箇所	
浄化槽（市町村設置型）	浄化槽	200基	

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

農業集落排水施設 371 人、浄化槽（市町村設置型）500 人

#### [事業費]

農業集落排水施設		
事業費	855,470 千円	
（うち交付金	427,735 千円）	
単独事業費	240,700 千円	

#### 浄化槽整備事業費

##### <市町村設置型>

事業費	212,100 千円
（うち交付金	70,700 千円）
単独事業費	94,800 千円

合計	事業費	1,067,570 千円
	（うち交付金	498,435 千円）
	単独事業費	335,500 千円

#### 5 - 3 その他の事業

汚水処理施設整備事業としては、上記のほかに公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、小規模集合排水事業を地域性や経済性を考慮しつつ、整備を進めていく。

#### 6 . 計画期間

平成 18 年度 ~ 平成 22 年度

#### 7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後、4 に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し、公表する。また、必要に応じて美作市汚水処理施設整備計画と照らし合わせ、達成状況の評価や改善すべき事項の検討を行う。

8 . 地域再生の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

本市の汚水処理施設整備計画については、最新のデータに基づいて施設計画を再検討する予定としており、『岡山県クリーンライフ 100 構想』との差異が出てきた場合には、次回見直し時に反映することとする。